



2022年5月13日

各位

会社名 日新製糖株式会社
代表者名 代表取締役社長 大久保 亮
(コード番号 2117 東証プライム市場)
問合せ先 専務執行役員 飯塚 裕之
(TEL. 03-3668-1246)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議し、2022年6月28日開催予定の第11回定時株主総会に付議することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当（期末配当）の内容

	2022年3月期			(参考) 2021年3月期	
	期末		第2四半期末	期末	第2四半期末
	決定額	直近の予想 (2022年 2月8日公表)			
基準日	2022年 3月31日	同左	2021年 9月30日	2021年 3月31日	2020年 9月30日
1株当たり 配当金	34円00銭	33円00銭	33円00銭	33円00銭	33円00銭
配当金総額	751百万円	—	729百万円	728百万円	728百万円
効力発生日	2022年 6月29日	—	2021年 12月1日	2021年 6月28日	2020年 12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金

(注) 配当金総額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

2. 理由

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益配分につきましては、連結配当性向（DPR）60%、または親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行います。

上記方針を本決算数値に適用し算定した結果、前回予想よりも業績が上向き、親会社の所有者に帰属する当期利益および親会社の所有者に帰属する持分の増加によって、年間配当金額につきましては、前回予想の66円から1円増額の1株当たり67円といたします。

これにより、1株当たり期末配当金額につきましては、1株当たり年間配当金額67円から1株当たり中間配当金額33円を差し引いた34円といたします。

[1株当たり年間配当金額の算定式]

連結配当性向（DPR）60%基準

期末基本的1株当たり連結当期利益 77.62 円の 60% = 47 円（1 円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%基準

期末1株当たり親会社所有者帰属持分 2,213.29 円の 3% = 67 円（1 円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%基準 67 円の方が大きいいため、67 円を1株当たり年間配当金額といたします。

（ご参考）年間配当の内訳

	1株当たり配当金額（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
当 期 (2022年3月期)	33 円 00 銭	34 円 00 銭	67 円 00 銭
前 期 実 績 (2021年3月期)	33 円 00 銭	33 円 00 銭	66 円 00 銭

以 上